

この度は当社の製品をお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。本書はHILUXにフロントスポイラーを取り付ける場合の取り付け要領について記載しております。取り付け前に必ずお読み頂き、記載内容に従って正しく取り付けを行って下さい。

△ 注意 ※取り付け上の不備による不具合及び塗装後の返品には応じられませんのでご注意ください。

※本製品は塗装前に必ず車両に仮り合わせ、隙間調整を行って下さい。

- 記載内容を守らなかった為の不具合につきましては責任を負いかねる場合がありますので予め御了承下さい。
- 本製品を改造しての取り付けは絶対にしないで下さい。
- 純正部品取り外し時の御不明点は車両販売ディーラーにお問い合わせ下さい。
- 作業は全て、サイドブレーキをかけ、エンジンを停止し完全に冷めて、車両が確実に固定されている事を確認してからタイヤを外して行って下さい。
- カッターナイフ等を使用する際は充分取扱いに注意して作業を行って下さい。ケガ等の一切の責任は負いかねます。
- 本製品は製品、車両誤差等により、取り付け穴及び車両との合わせ部をヤスリ等で削り調整して頂く場合がございます。
- 本製品はFRP成型品です。無理な力を加えると破損する恐れがございます。特にビス、ボルト固定の際は必ず全体を仮止めし各部の取り付け具合を確認しながら少しずつ細心の注意で無理な力を加えないように本締めして下さい。
- 車両側の穴開け部には腐食防止の処理を施して下さい。
- 取り付け完了後は各取り付け部及び全体のガタツキ等が無いが、再確認して下さい。又、一定期間毎に取り付け確認、必要に応じて増締めを行って下さい。
- 塗装の塗り分け指示は、あくまで推奨です。お客様の御判断で塗り分けを行って下さい。
- WALD製品は使用目的や使用範囲が限定されており、純正部品とは別の扱いとなる為、車両保証や修理が受けられない場合がございます。予めご了承下さい。
- エアロパーツを装着すると最低地上高が下がる為、緑色や段差にパーツが干渉する場合がございます。またガレージジャッキ等が指定の位置で使えなくなる場合がございます。FRP製、ABS製、PPE製のパーツの場合、純正部品より衝撃に弱くなります。また、車両の色と完全に一致しないことや、取付部に多少のズレが生じる場合もあります。予めご了承下さい。

コーキングボンド使用(別売)

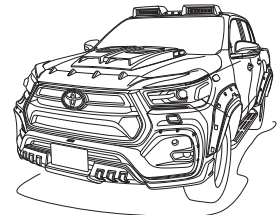
このマークの部分はコーキングボンドでスポイラーとボディの隙間がきれいに埋まる様に接着して下さい。

- 接着部分は必ず脱脂を充分に行って下さい。
- コーキングボンドで接着後は完全に接着するまで放置し、洗車等濡れる事は避けて下さい。
- 後々、脱着が必要になる部分にはシリコン系のボンドを使用する事をお薦め致します。

※コーキングボンドはお近くの自動車用品店やホームセンター等でお買い求め下さい。

※付属ビス等が付く商品に関しては別袋に入れ、製品の外袋に貼り付けていますのでご注意ください。

	構成部品	数量
FRONT SPOILER	フロントスポイラー本体	1
	エンブレム	1
	エンドモール(黒/グレー)	各1
	ブラケット	2
	M6x16 ボルトナット	2set
	M4x15 タッピングビス	2
	型紙(ライトウォッシャー穴あけ用)	1



FRONT SPOILER

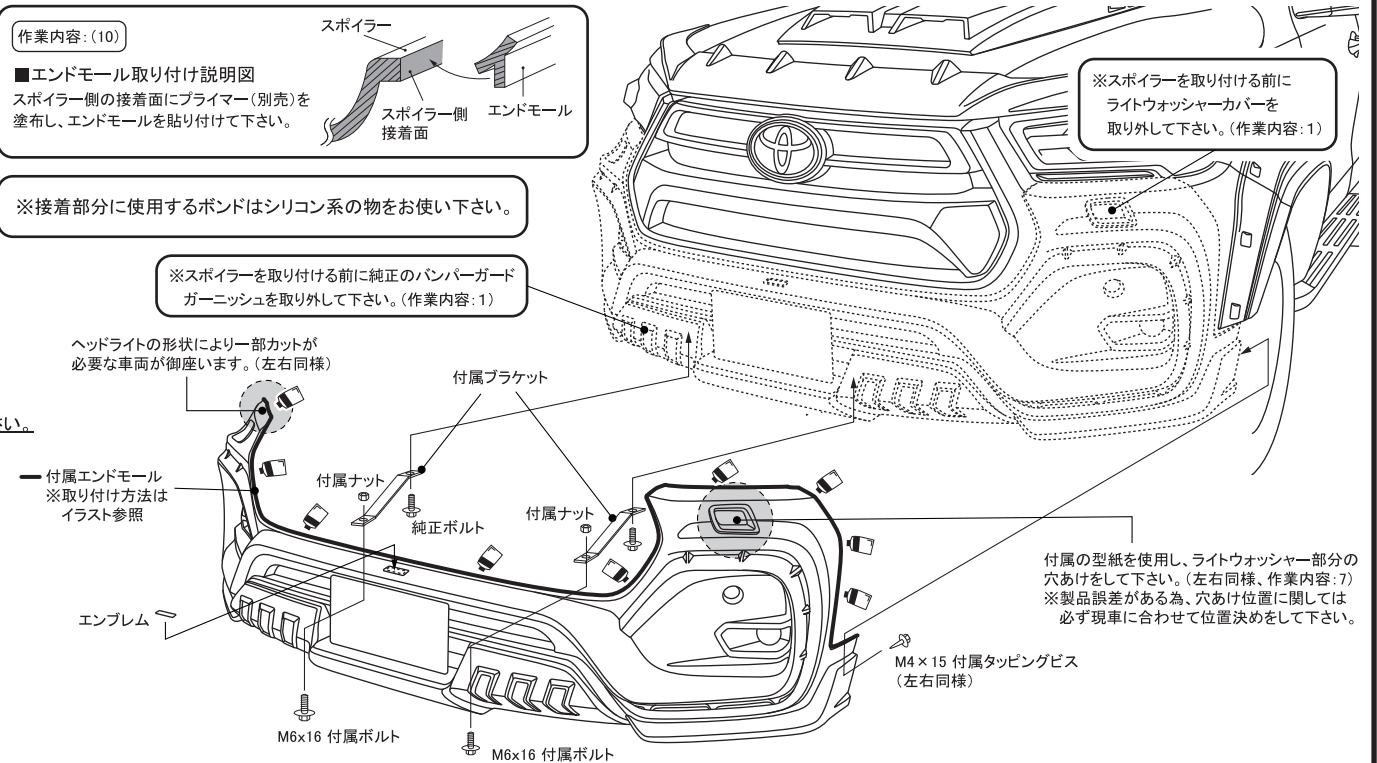
【塗装前作業】

- 1) 純正のサービスマニュアル等に従って、純正バンパー下部に付いているバンパーガードガーニッシュとライトウォッシャーカバーを取り外して下さい。
- 2) 純正バンパーを固定しているボルトで付属ブラケットを車両へ取り付けして下さい。
- 3) フロントスポイラーを車両に仮合わせして下さい。
※その際、干渉する部分がありましたら無理に組まずにヤスリ等で削り微調整を行って下さい。
※ヘッドライトの形状により、一部スポイラーのカットが必要になる車両が御座います。
- 4) 全体のバランスを見て正確な位置にある事を確認し、マスキングテープ等で取り付け位置をマーキングして下さい。
- 5) フェンダー内の固定部分にスポイラーのビス穴を利用し、車両側に穴あけ位置をマーキングして下さい。
- 6) フロントスポイラーを車両から取り外し、マーキングの位置に取り付けビスに応じた適切な穴を開けて下さい。
- 7) 付属の型紙を使用し、フロントスポイラーにライトウォッシャー用の穴あけ加工を行って下さい。
※製品誤差がある為、穴あけ位置に関しては必ず現車に合わせて位置決めをして下さい。
※ライトウォッシャー付きの車両でも使用しない場合、加工作業は必要ありません。
スポイラー装着後にライトウォッシャーが作動しない様、配線は外して絶縁処理を行って下さい。
- 8) 別紙“塗り分け説明書”を参考に任意で塗り分けを行って下さい。

【塗装後作業】

- 9) 各部、接着する部分は車両側も含め脱脂を充分に行って下さい。
- 10) イラストを参考に付属のエンドモールドをフロントスポイラーに貼り付けて下さい。
- 11) フロントスポイラーを車両の取り付け位置に合わせてボンド等(別売)で接着し各固定箇所を仮止めして下さい。
- 12) 全体のバランスを見て正確な位置にある事を確認し、仮止め部分を確実に固定して下さい。
- 13) 付属エンブレムを貼付け、ライトウォッシャーカバーを取り付けて下さい。
- 14) フロントスポイラーが完全に接着するまで充分に圧着した状態でズレない様に固定しておいて下さい。

- △ 注意 ※作業は2名以上で行い、ボディにキズが付かない様に注意して下さい。
※車両の誤差でズレ等が生じる場合は各部調整を行って下さい。

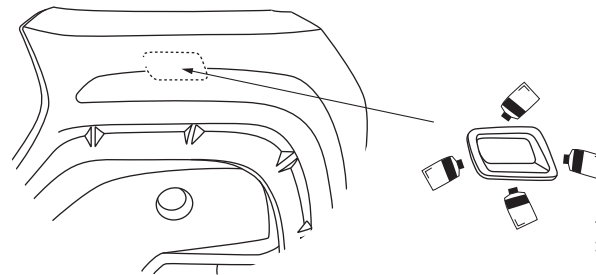
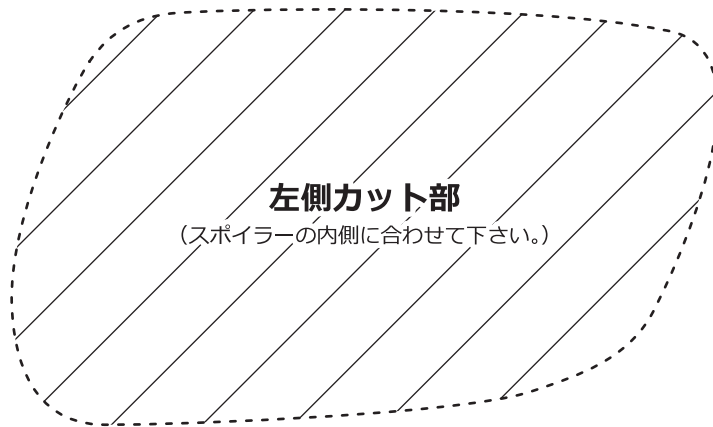
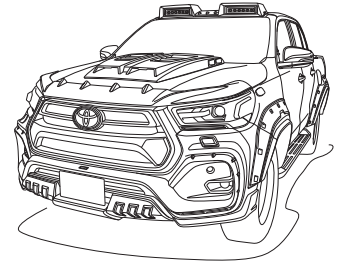


FRONT SPOILER ライトウォッシャー部穴あけ用型紙

ライトウォッシャー付きの車両でもライトウォッシャーを使用しない場合、加工作業は必要ありません。
スポイラー装着後にライトウォッシャーが作動しない様、配線は外して絶縁処理を行って下さい。

【作業手順】

- 1) 純正バンパーにフロントスポイラーを被せ、ライトウォッシャーカバーの位置をスポイラー内側にマーキングして下さい。
※マスキングテープやマジック等を使用し、スポイラー側にマーキングして下さい。
- 2) 本紙、穴あけ用の型紙を破線に沿って切り取って下さい。
- 3) 切り取った型紙をスポイラー内側、作業「1」でマーキングした位置にバランスよく合わせて下さい。
- 4) 型紙のフチに沿ってカットラインをスポイラー側にマーキングして下さい。
- 5) スポイラーから型紙を取り外し、マーキングしたカットラインを目安に穴を開けて下さい。
※カットする際は細心の注意を払って作業を行って下さい。



⚠ 注意：A4用紙に拡大縮小せず、実際サイズで印刷して下さい。

この度は当社の製品をお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。本書はHILUXにボンネットスクープカバーを取り付ける場合の取り付け要領について記載しております。取り付け前に必ずお読み頂き、記載内容に従って正しく取り付けを行って下さい。

△ 注意 ※取り付け上の不備による不具合及び塗装後の返品には応じられませんのでご注意ください。

※本製品は塗装前に必ず車両に仮り合わせ、隙間調整を行って下さい。

- 記載内容を守らなかった為の不具合につきましては責任を負いかねる場合がありますので予め御了承下さい。
- 本製品を改造しての取り付けは絶対にしないで下さい。
- 純正部品取り外し時の御不明点は車両販売ディーラーにお問い合わせ下さい。
- 作業は全て、サイドブレーキをかけ、エンジンを停止し完全に冷めて、車両が確実に固定されている事を確認してからタイヤを外して行って下さい。
- カッターナイフ等を使用する際は充分取扱いに注意して作業を行って下さい。ケガ等の一切の責任は負いかねます。
- 本製品は製品、車両誤差等により、取り付け穴及び車両との合わせ部をヤスリ等で削り調整して頂く場合がございます。
- 本製品はFRP成型品です。無理な力を加えると破損する恐れがございます。特にビス、ボルト固定の際は必ず全体を仮止めし各部の取り付け具合を確認しながら少しずつ細心の注意で無理な力を加えないように本締めして下さい。
- 車両側の穴開け部には腐食防止の処理を施して下さい。
- 取り付け完了後は各取り付け部及び全体のカタツキ等が無いか、再確認して下さい。又、一定期間毎に取り付け確認、必要に応じて増締めを行って下さい。
- 塗装の塗り分け指示は、あくまで推奨です。お客様の御判断で塗り分けを行って下さい。
- WALD製品は使用目的や使用範囲が限定されており、純正部品とは別の扱いとなる為、車両保証や修理が受けられない場合がございます。予めご了承下さい。
- エアロパーツを装着すると最低地上高が下がる為、縁石や段差にパーツが干渉する場合がございます。またガレージジャッキ等が指定の位置で使えなくなる場合がございます。FRP製、ABS製、PPE製のパーツの場合、純正部品より衝撃に弱くなります。また、車両の色と完全に一致しないことや、取付部に多少のスレが生じる場合もあります。予めご了承下さい。

コーキングボンド使用(別売)

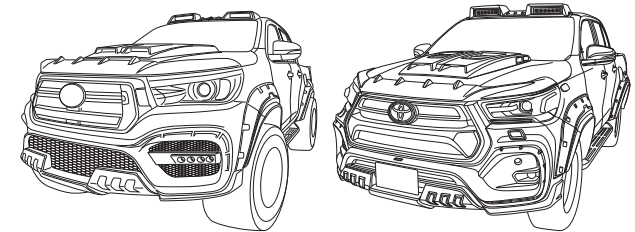
このマークの部分はコーキングボンドでスポイラーとボディの隙間がきれいに埋まる様に接着して下さい。

- 接着部分は必ず脱脂を充分に行って下さい。
- コーキングボンドで接着後は完全に接着するまで放置し、洗車等濡れる事は避けて下さい。
- 後々、脱着が必要になる部分にはシリコン系のボンドを使用する事をオススメ致します。

※コーキングボンドはお近くの自動車用品店やホームセンター等でお買い求め下さい。

※付属ビス等が付く商品に関しては別袋に入れ、製品の外袋に貼り付けていますのでご注意ください。

	構成部品	数量
BONNET SCOOP COVER	ボンネットスクープカバー本体	1
	M4x16 タッピングビス	16



BONNET SCOOP COVER

【塗装前作業】

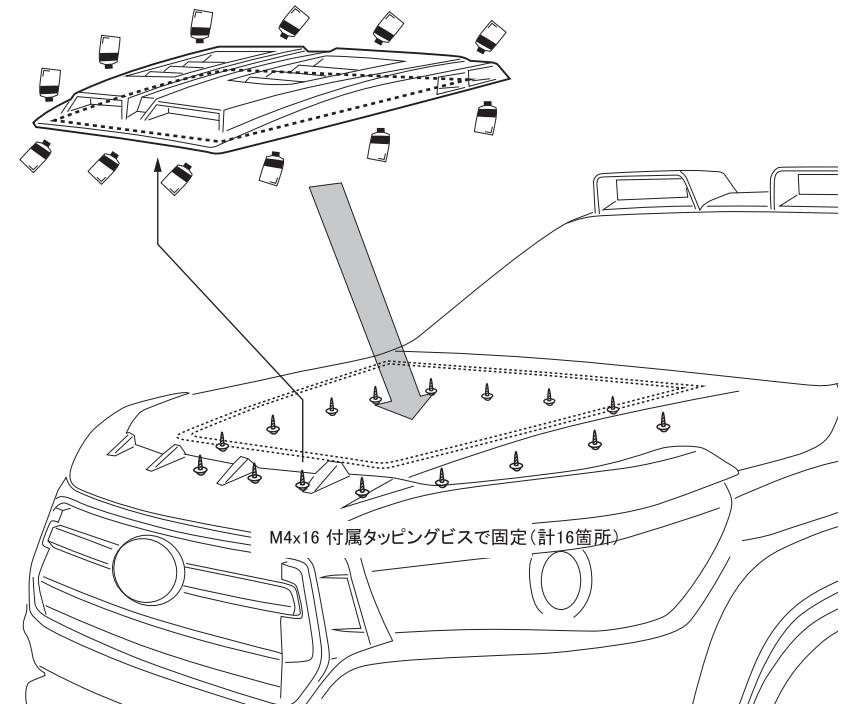
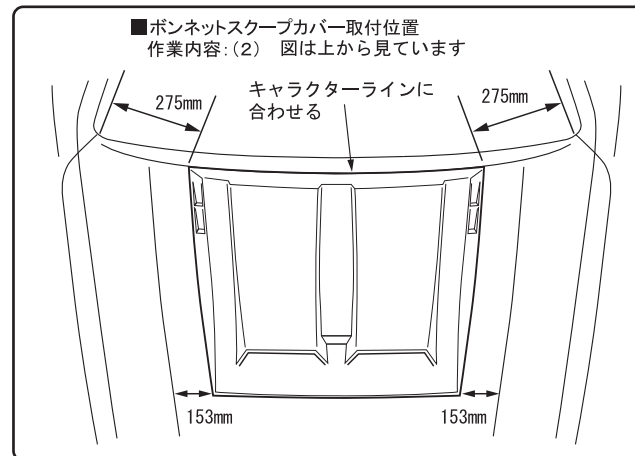
- 1) ボンネットスクープカバーを車両に仮合わせて下さい。
※その際、干渉する部分がありましたら無理に組まずにヤスリ等で削り微調整を行って下さい。
※ボンド処理は行わないで下さい。
- 2) 図を参考に正確な位置にある事を確認し、マスキングテープ等で取り付け位置をマーキングして下さい。
- 3) 別紙“塗り分け説明書”を参考に任意で塗り分けを行って下さい。

※数値に関しましては車両誤差や採寸方法によって変わりますので参考数値とお考えください。

※接着部分に使用するボンドはシリコン系の物をお使い下さい。

【塗装後作業】

- 4) 各部、接着する部分は車両側も含め脱脂を充分に行って下さい。
- 5) ボンネットスクープカバーをマーキングした取り付け位置に合わせ、ボンド等(別売)で接着して下さい
- 6) 全体のバランスを見て正確な位置にある事が確認できましたらボンネット裏側から必ず付属タッピングビスで確実に固定して下さい。
※その際、車両側の穴開け部分には防水・防錆の処理を必ず施して下さい。
- 7) ボンネットスクープカバーが完全に接着するまで十分に圧着した状態でズレない様に固定しておいて下さい。



△ 注意

- ※作業は2名以上で行い、ボディにキズが付かない様に注意して下さい。
- ※車両の誤差でスレ等が生じる場合は各部調整を行って下さい。

この度は当社の製品をお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。本書はHILUXにバグガードを取り付ける場合の取り付け要領について記載しております。取り付け前に必ずお読み頂き、記載内容に従って正しく取り付けを行って下さい。

△ 注意 ※取り付け上の不備による不具合及び塗装後の返品には応じられませんのでご注意ください。

※本製品は塗装前に必ず車両に仮り合わせ、隙間調整を行って下さい。

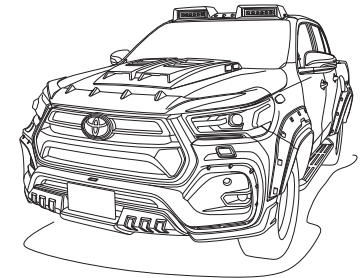
- 記載内容を守らなかった為の不具合につきましては責任を負いかねる場合がありますので予め御了承下さい。
- 本製品を改造しての取り付けは絶対にしないで下さい。
- 純正部品取り外し時の御不明点は車両販売ディーラーにお問い合わせ下さい。
- 作業は全て、サイドブレーキをかけ、エンジンを停止し完全に冷めて、車両が確実に固定されている事を確認してからタイヤを外して行って下さい。
- カッターナイフ等を使用する際は充分取扱いに注意して作業を行って下さい。ケガ等の一切の責任は負いかねます。
- 本製品は製品、車両誤差等により、取り付け穴及び車両との合わせ部をヤスリ等で削り調整して頂く場合がございます。
- 本製品はFRP成型品です。無理な力を加えると破損する恐れがございます。特にビス、ボルト固定の際は必ず全体を仮止めし各部の取り付け具合を確認しながら少しずつ細心の注意で無理な力を加えないように本締めして下さい。
- 車両側の穴開け部には腐食防止の処理を施して下さい。
- 取り付け完了後は各取り付け部及び全体のカタツキ等が無いが、再確認して下さい。又、一定期間毎に取り付け確認、必要に応じて増締めを行って下さい。
- 塗装の塗り分け指示は、あくまで推奨です。お客様の御判断で塗り分けを行って下さい。
- WALD製品は使用目的や使用範囲が限定されており、純正部品とは別の扱いとなる為、車両保証や修理が受けられない場合がございます。予めご了承下さい。
- エアロパーツを装着すると最低地上高が下がる為、縁石や段差にパーツが干渉する場合がございます。またガレージジャッキ等が指定の位置で使えなくなる場合がございます。FRP製、ABS製、PPE製のパーツの場合、純正部品より衝撃に弱くなります。また、車両の色と完全に一致しないことや、取付部に多少のズレが生じる場合もあります。予めご了承下さい。

コーキングボンド使用(別売)

- このマークの部分はコーキングボンドでスポイラーとボディの隙間がきれいに埋まる様に接着して下さい。
 - 接着部分は必ず脱脂を充分に行って下さい。
 - コーキングボンドで接着後は完全に接着するまで放置し、洗車等濡れる事は避けて下さい。
 - 後々、脱着が必要になる部分にはシリコン系のボンドを使用する事をオススメ致します。
- ※コーキングボンドはお近くの自動車用品店やホームセンター等でお買い求め下さい。

※付属ビス等が付く商品に関しては別袋に入れ、製品の外袋に貼り付けていますのでご注意ください。

	構成部品	数量
BUG GUARD	バグガード本体	1



BUG GUARD

【塗装前作業】

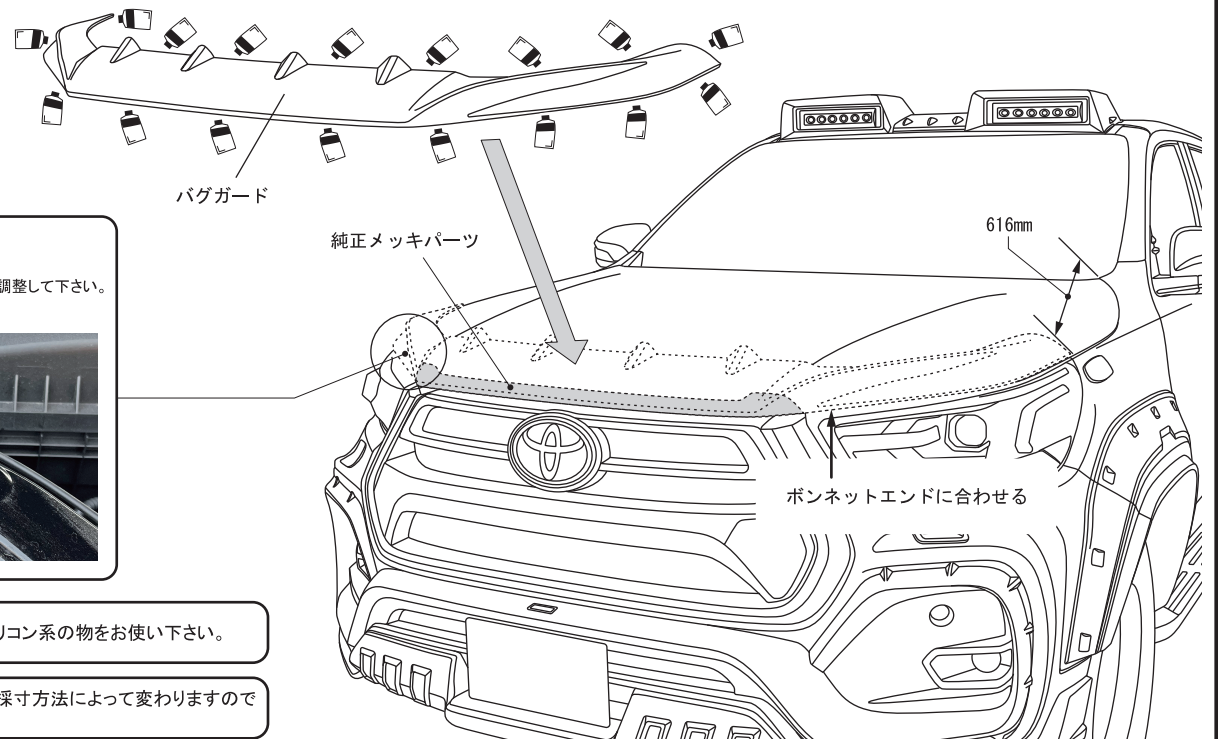
- 1) 純正のサービスマニュアル等に従って、ボンネット先端中央部の純正メッキパーツ取り外して下さい。(取り外した純正パーツや部品は保管願います。)
- 2) バグガードを車両に仮合わせして下さい。
※その際、干渉する部分がありましたら無理に組まずにヤスリ等で削り微調整を行って下さい。
※ボンド処理は行わないで下さい。
- 3) ボンネットを閉じた状態でフェンダーとのズレがある場合はエンジンルーム内の調整ゴムにてボンネットの高さを調整して下さい。
- 4) 図を参考に正確な位置にある事を確認し、マスキングテープ等で取り付け位置をマーキングして下さい。
- 5) 別紙“塗り分け説明書”を参考に任意で塗り分けを行って下さい。

【塗装後作業】

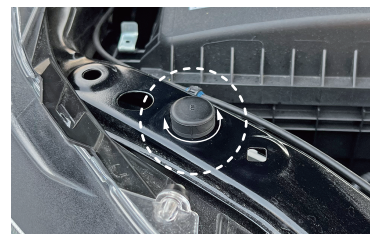
- 6) 各部、接着する部分は車両側も含め脱脂を充分に行って下さい。
- 7) バグガードをマーキングした取り付け位置に合わせ、ボンド等(別売)で接着して下さい。
- 8) 全体のバランスを見て正確な位置にある事が確認できましたら確実に固定して下さい。
- 9) バグガードが完全に接着するまで充分に圧着した状態でズレない様に固定しておいて下さい。

△ 注意

- ※作業は2名以上で行い、ボディにキズが付かない様に注意して下さい。
- ※車両の誤差でズレ等が生じる場合は各部調整を行って下さい。



作業内容: (3)
ボンネットの高さは画像のゴムを回して調整して下さい。
※調整ゴムは左右にあります。



※接着部分に使用するボンドはシリコン系の物をお使い下さい。

※数値に関しましては車両誤差や採寸方法によって変わりますので参考数値とお考えください。

この度は当社の製品をお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。本書はHILUXにフロントルーフスポイラーを取り付ける場合の取り付け要領について記載しております。取り付け前に必ずお読み頂き、記載内容に従って正しく取り付けを行って下さい。

△ 注意 ※取り付け上の不備による不具合及び塗装後の返品には応じられませんのでご注意ください。

※本製品は塗装前に必ず車両に仮り合わせ、隙間調整を行って下さい。

- 記載内容を守らなかった為の不具合につきましては責任を負いかねる場合がありますので予め御了承下さい。
- 本製品を改造しての取り付けは絶対にしないで下さい。
- 純正部品取り外し時の御不明点は車両販売ディーラーにお問い合わせ下さい。
- 作業は全て、サイドブレーキをかけ、エンジンを停止し完全に冷めて、車両が確実に固定されている事を確認してからタイヤを外して行って下さい。
- カッターナイフ等を使用する際は充分取扱いに注意して作業を行って下さい。ケガ等の一切の責任は負いかねます。
- 本製品は製品、車両誤差等により、取り付け穴及び車両との合わせ部をヤスリ等で削り調整して頂く場合がございます。
- 本製品はFRP成型品です。無理な力を加えると破損する恐れがございます。特にビス、ボルト固定の際は必ず全体を仮止めし各部の取り付け具合を確認しながら少しずつ細心の注意で無理な力を加えないように本締めて下さい。
- 車両側の穴開け部には腐食防止の処理を施して下さい。
- 取り付け完了後は各取り付け部及び全体のカタツキ等が無いが、再確認して下さい。又、一定期間毎に取り付け確認、必要に応じて増締めを行って下さい。
- 塗装の塗り分け指示は、あくまで推奨です。お客様の御判断で塗り分けを行って下さい。
- WALD製品は使用目的や使用範囲が限定されており、純正部品とは別の扱いとなる為、車両保証や修理が受けられない場合がございます。予めご了承下さい。
- エアロパーツを装着すると最低地上高が下がる為、緑石や段差にパーツが干渉する場合がございます。またガレージジャッキ等が指定の位置で使えなくなる場合がございます。FRP製、ABS製、PPE製のパーツの場合、純正部品より衝撃に弱くなります。また、車両の色と完全に一致しないことや、取付部に多少のズレが生じる場合もあります。予めご了承下さい。

コーキングボンド使用(別売)

このマークの部分はコーキングボンドでスポイラーとボディの隙間がきれいに埋まる様に接着して下さい。

- 接着部分は必ず脱脂を充分に行って下さい。
- コーキングボンドで接着後は完全に接着するまで放置し、洗車等濡れる事は避けて下さい。
- 後々、脱着が必要になる部分にはシリコン系のボンドを使用する事をオススメ致します。

※コーキングボンドはお近くの自動車用品店やホームセンター等でお買い求め下さい。

※付属ビス等が付く商品に関しては別袋に入れ、製品の外袋に貼り付けていますのでご注意ください。

	構成部品	数量
FRONT ROOF SPOILER	フロントルーフスポイラー本体	1
	M6x30 ボルト	4
	M3x15 皿タッピングビス	8
	M6 ナット	2
	ワッシャー	6
	ステー A	2
	ステー B (ボルト、ナット付き)	2
OPTION PARTS	ステー C	1
	LEDランプ (LEDHMLB1030、ナット付き)	1set
	リレーハーネス (別売)	1

※本製品の取り付けにより車検証記載の車両寸法から数値が変わりますので構造変更が必要になります。

FRONT ROOF SPOILER

【塗装前作業】

※本製品の取り付けにはルーフアンテナの取り外しが必要になります。

それに伴いラジオの受信感度が低下する場合がありますので予めご了承下さい。

- 1) 上部の付属カバーをルーフスポイラー本体に仮合わせし、カバー固定用の穴を利用してルーフスポイラーの本体側に穴あけ位置をマーキングして下さい。
- 2) カバーを外し、マーキングした位置に約1.5φの穴を開けて下さい。
- 3) 図を参考にルーフスポイラー本体を車両に仮合わせて下さい。
付属ステーはAとBを組み付け後、Cの順に取り付けます。
※その際、干渉する部分や穴位置のズレがありましたら無理に組まずにヤスリ等で削り微調整を行って下さい。
※まだボンド処理は行わないで下さい。
- 4) 全体のバランスを見て正確な位置にある事を確認し、マスキングテープ等で取り付け位置をマーキングして下さい。
- 5) LEDランプの接続に必要な配線作業を行い、点灯確認・照射角度の調整をして下さい。
※使用しない配線(車両側も含む)に関しては、必ず絶縁処理を行って下さい。
- 6) 別紙“塗り分け説明書”を参考に任意で塗り分けを行って下さい。

【塗装後作業】

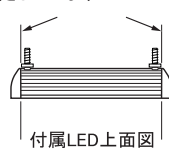
- 7) 各部、接着する部分は車両側も含め脱脂を充分に行って下さい。
- 8) 図を参考にルーフスポイラーを組み立てて下さい。
- 9) ルーフスポイラーを車両の取り付け位置に合わせてボンド等(別売)で接着し各固定箇所を仮止めして下さい。
- 10) 全体のバランスを見て正確な位置にある事を確認し、仮止め部分を確実に固定して下さい。
- 11) ルーフスポイラーが完全に接着するまで十分に圧着した状態でズレない様に固定しておいて下さい。

△ 注意

- ※作業は2名以上で行い、ボディにキズが付かない様に注意して下さい。
- ※車両の誤差でズレ等が生じる場合は各部調整を行って下さい。
- ※配線作業は必ず通電しない状態で行って下さい。(バッテリー端子を取り外す等、車両に適した方法をとって下さい。)

※付属LED取り付け説明図
作業内容:(3,8)

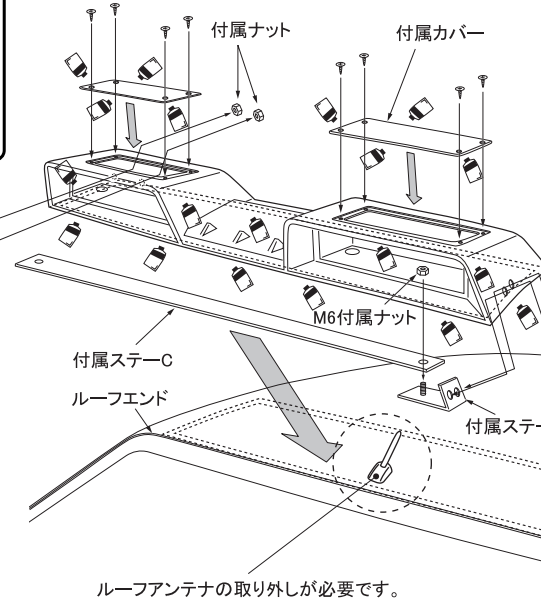
ボルト位置はサイドカバー見切り位置で、はまるように設定しています



付属LED
(左右同様)

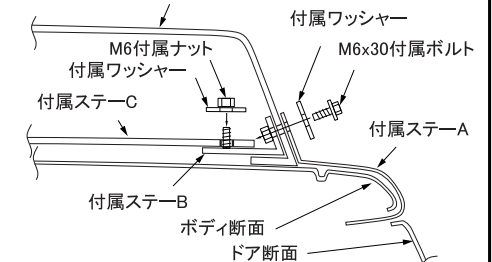
※接着部分に使用するボンドはシリコン系の物をお使い下さい。

M3x15付属 皿タッピングビス



※付属ステー取り付け断面図(左右同様)
作業内容:(3,8)

フロントルーフスポイラー断面



TOYOTA HILUX GUN125 (2020.8~)

WALD SPORTS LINE
BLACK BISON EDITION

取付説明書
WALD
Sportliche Autoausrüstung WALD International


この度は当社の製品をお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。本書はHILUXにリアスパッツを取り付ける場合の取り付け要領について記載しております。取り付け前に必ずお読み頂き、記載内容に従って正しく取り付けを行って下さい。

△ 注意 ※取り付け上の不備による不具合及び塗装後の返品には応じられませんのでご注意ください。

※本製品は塗装前に必ず車両に仮り合わせ、隙間調整を行って下さい。

- 記載内容を守らなかった為の不具合につきましては責任を負いかねる場合がありますので予め御了承下さい。
- 本製品を改造しての取り付けは絶対にしないで下さい。
- 純正部品取り外し時の御不明点は車両販売ディーラーにお問い合わせ下さい。
- 作業は全て、サイドブレーキをかけ、エンジンを停止し完全に冷めて、車両が確実に固定されている事を確認してからタイヤを外して行って下さい。
- カッターナイフ等を使用する際は充分取扱いに注意して作業を行って下さい。ケガ等の一切の責任は負いかねます。
- 本製品は製品、車両誤差等により、取り付け穴及び車両との合わせ部をヤスリ等で削り調整して頂く場合がございます。
- 本製品はFRP成型品です。無理な力を加えると破損する恐れがございます。特にビス、ボルト固定の際は必ず全体を仮止めし各部の取り付け具合を確認しながら少しずつ細心の注意で無理な力を加えないように本締めして下さい。
- 車両側の穴開け部には腐食防止の処理を施して下さい。
- 取り付け完了後は各取り付け部及び全体のカタツキ等が無いが、再確認して下さい。又、一定期間毎に取り付け確認、必要に応じて増締めを行って下さい。
- 塗装の塗り分け指示は、あくまで推奨です。お客様の御判断で塗り分けを行って下さい。
- WALD製品は使用目的や使用範囲が限定されており、純正部品とは別の扱いとなる為、車両保証や修理が受けられない場合がございます。予めご了承下さい。
- エアロパーツを装着すると最低地上高が下がる為、縁石や段差にパーツが干渉する場合がございます。またガレージジャッキ等が指定の位置で使えなくなる場合がございます。FRP製、ABS製、PPE製のパーツの場合、純正部品より衝撃に弱くなります。また、車両の色と完全に一致しないことや、取付部に多少のズレが生じる場合もあります。予めご了承下さい。

コーキングボンド使用(別売)

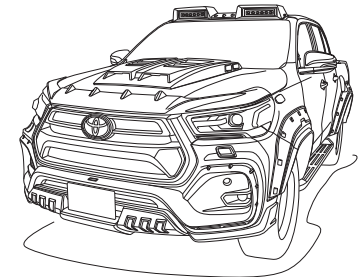
 このマークの部分はコーキングボンドでスポイラーとボディの隙間がきれいに埋まる様に接着して下さい。

- 接着部分は必ず脱脂を充分に行って下さい。
- コーキングボンドで接着後は完全に接着するまで放置し、洗車等濡れる事は避けて下さい。
- 後々、脱着が必要になる部分にはシリコン系のボンドを使用する事をお薦め致します。

※コーキングボンドはお近くの自動車用品店やホームセンター等でお買い求め下さい。

※付属ビス等が付く商品に関しては別袋に入れ、製品の外袋に貼り付けていますのでご注意ください。

	構成部品	数量
REAR SPATS	リアスパッツ 左右	1set



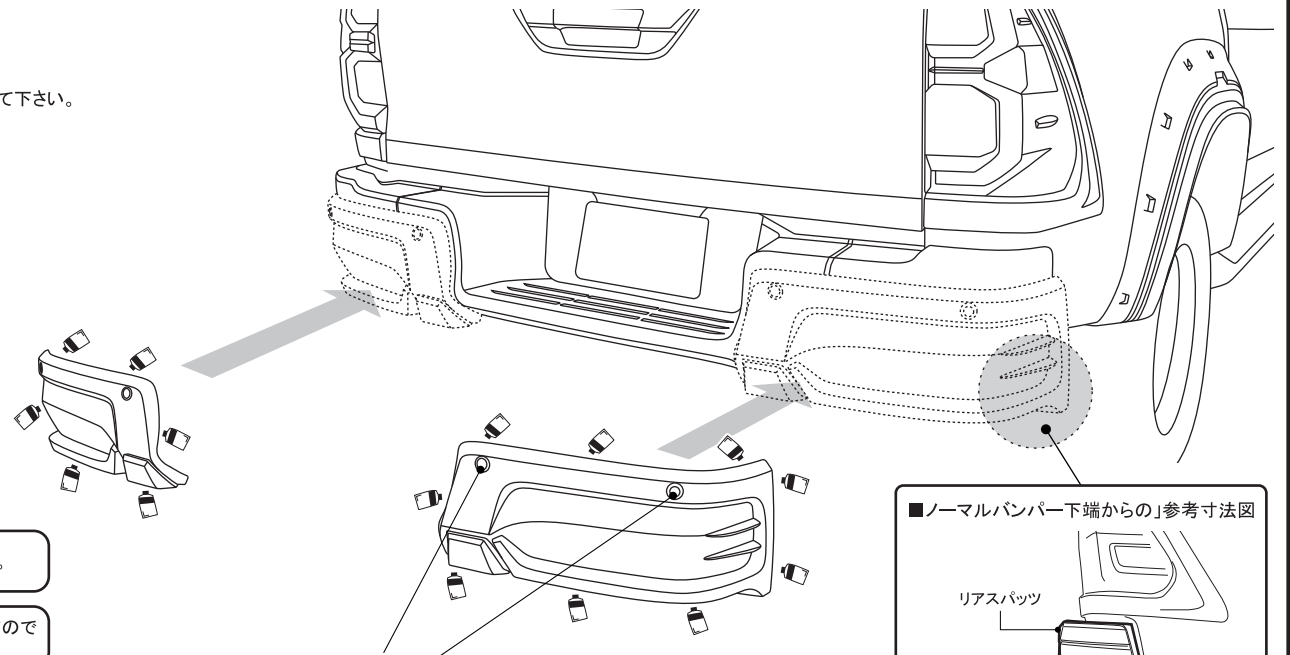
REAR SPATS

【塗装前作業】

- 1) 図を参考にリアスパッツを純正リアバンパーのメッキ部分に被せる様、車両へ仮組して下さい。
※その際、干渉する部分がありましたら無理に組まずにヤスリ等で削り微調整を行って下さい。
- 2) 全体のバランスを見て正確な位置にある事を確認し、マスキングテープ等で取り付け位置をマーキングして下さい。
- 3) PTSセンサー移植の為、純正リアバンパーのメッキ部分を加工して下さい。(別紙参照)
- 4) 別紙“塗り分け説明書”を参考に任意で塗り分けを行って下さい。

【塗装後作業】

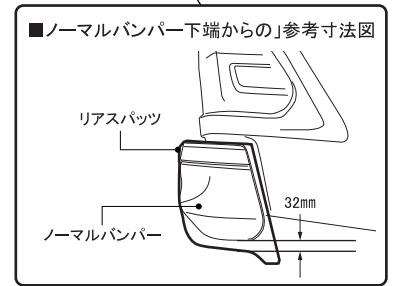
- 5) 各部、接着する部分は車両側も含め脱脂を充分に行って下さい。
- 6) リアスパッツにPTSセンサーを土台ごと移植して下さい。(別紙参照)
- 7) リアスパッツをマーキングした取り付け位置に合わせ、ボンド等(別売)で接着して下さい。
- 8) 全体のバランスを見て正確な位置にある事が確認できましたら確実に固定して下さい。
- 9) リアスパッツが完全に接着するまで充分に圧着した状態でズレない様に固定しておいて下さい。



※接着部分に使用するボンドはシリコン系の物をお使い下さい。

※数値に関しましては車両誤差や採寸方法によって変わりますので参考数値とお考えください。

PTSセンサー(純正移植、左右同様)
※PTSセンサーの取り付けには加工が必要です。(別紙参照)



△ 注意

- ※作業は2名以上で行い、ボディにキズが付かない様に注意して下さい。
- ※車両の誤差でズレ等が生じる場合は各部調整を行って下さい。

この度は当社の製品をお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。本書はHILUXにリアゲートスポイラーを取り付ける場合の取り付け要領について記載しております。取り付け前に必ずお読み頂き、記載内容に従って正しく取り付けを行って下さい。

△ 注意 ※取り付け上の不備による不具合及び塗装後の返品には応じられませんのでご注意ください。

※本製品は塗装前に必ず車両に仮り合わせ、隙間調整を行って下さい。

- 記載内容を守らなかった為の不具合につきましては責任を負いかねる場合がありますので予め御了承下さい。
- 本製品を改造しての取り付けは絶対にしないで下さい。
- 純正部品取り外し時の御不明点は車両販売ディーラーにお問い合わせ下さい。
- 作業は全て、サイドブレーキをかけ、エンジンを停止し完全に冷めて、車両が確実に固定されている事を確認してからタイヤを外して行って下さい。
- カッターナイフ等を使用する際は充分取扱いに注意して作業を行って下さい。ケガ等の一切の責任は負いかねます。
- 本製品は製品、車両誤差等により、取り付け穴及び車両との合わせ部をヤスリ等で削り調整して頂く場合がございます。
- 本製品はFRP成型品です。無理な力を加えると破損する恐れがございます。特にビス、ボルト固定の際は必ず全体を仮止めし各部の取り付け具合を確認しながら少しずつ細心の注意で無理な力を加えないように本締めして下さい。
- 車両側の穴開け部には腐食防止の処理を施して下さい。
- 取り付け完了後は各取り付け部及び全体のカタツキ等が無いか、再確認して下さい。又、一定期間毎に取り付け確認、必要に応じて増締めを行って下さい。
- 塗装の塗り分け指示は、あくまで推奨です。お客様の御判断で塗り分けを行って下さい。
- WALD製品は使用目的や使用範囲が限定されており、純正部品とは別の扱いとなる為、車両保証や修理が受けられない場合がございます。予めご了承下さい。
- エアロパーツを装着すると最低地上高が下がる為、縁石や段差にパーツが干渉する場合がございます。またガレージジャッキ等が指定の位置で使えなくなる場合がございます。FRP製、ABS製、PPE製のパーツの場合、純正部品より衝撃に弱くなります。また、車両の色と完全に一致しないことや、取付部に多少のズレが生じる場合もあります。予めご了承下さい。

コーキングボンド使用(別売)

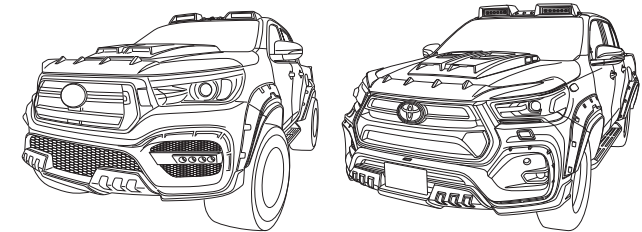
このマークの部分はコーキングボンドでスポイラーとボディの隙間がきれいに埋まる様に接着して下さい。

- 接着部分は必ず脱脂を充分に行って下さい。
- コーキングボンドで接着後は完全に接着するまで放置し、洗車等濡れる事は避けて下さい。
- 後々、脱着が必要になる部分にはシリコン系のボンドを使用する事をお薦め致します。

※コーキングボンドはお近くの自動車用品店やホームセンター等でお買い求め下さい。

※付属ビス等が付く商品に関しては別袋に入れ、製品の外袋に貼り付けていますのでご注意ください。

	構成部品	数量
REAR GATE SPOILER	リアゲートスポイラー センター用	1
	リアゲートスポイラー 左右用	1set
OPTION PARTS	リアゲートスポイラー用 飾りビス	11



REAR GATE SPOILER

【塗装前作業】

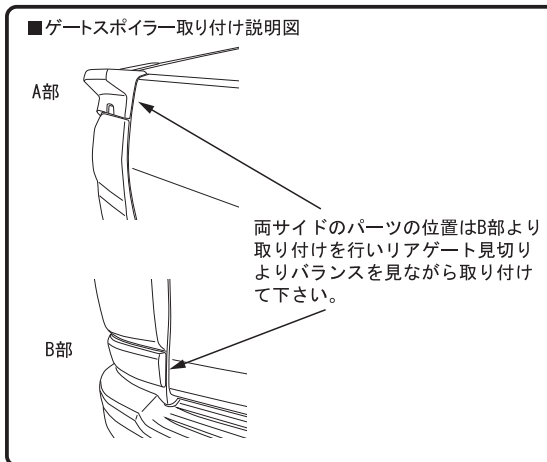
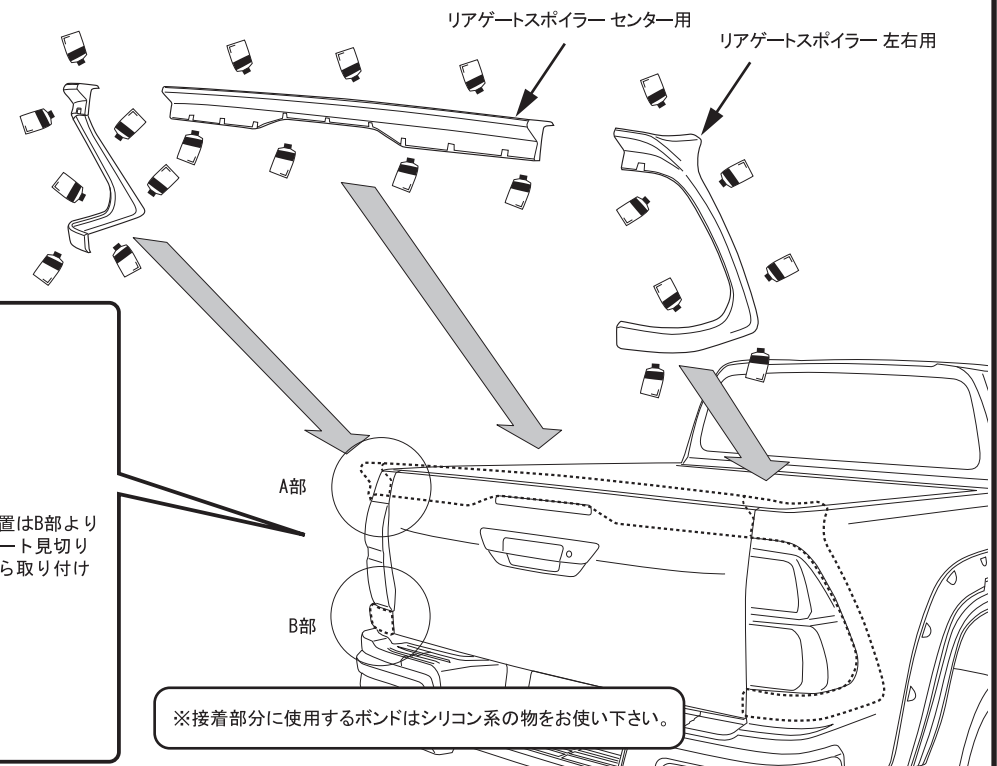
- 1)リアゲートスポイラーを車両の取り付け位置に仮合わせして下さい。
※その際、干渉する部分がありましたら無理に組まずにヤスリ等で削り微調整を行って下さい。
- 2)全体のバランスを見て正確な位置にある事を確認し、マスキングテープ等で取り付け位置をマーキングして下さい。
- 3)別紙“塗り分け説明書”を参考に任意で塗り分けを行って下さい。

【塗装後作業】

- 4)各部、接着する部分は車両側も含め脱脂を充分に行って下さい。
- 5)リアゲートスポイラーをマーキングした取り付け位置に合わせ、ボンド等(別売)で接着して下さい。
- 6)全体のバランスを見て正確な位置にある事が確認できましたら確実に固定して下さい。
- 7)リアゲートスポイラーが完全に接着するまで十分に圧着した状態でズレない様に固定しておいて下さい。
- 8)オプションの飾りビスを取り付ける場合は、ボンド等(別売)で接着して下さい。

△ 注意

- ※作業は2名以上で行い、ボディにキズが付かない様に注意して下さい。
- ※車両の誤差でズレ等が生じる場合は各部調整を行って下さい。



※接着部分に使用するボンドはシリコン系の物をお使い下さい。

この度は当社の製品をお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。本書はHILUXにフロントオーバーフェンダーを取り付ける場合の取り付け要領について記載しております。取り付け前に必ずお読み頂き、記載内容に従って正しく取り付けを行って下さい。

△ 注意 ※取り付け上の不備による不具合及び塗装後の返品には応じられませんのでご注意ください。

※本製品は塗装前に必ず車両に仮り合わせ、隙間調整を行って下さい。

- 記載内容を守らなかった為の不具合につきましては責任を負いかねる場合がありますので予め御了承下さい。
- 本製品を改造しての取り付けは絶対にしないで下さい。
- 純正部品取り外し時の御不明点は車両販売ディーラーにお問い合わせ下さい。
- 作業は全て、サイドブレーキをかけ、エンジンを停止し完全に冷めて、車両が確実に固定されている事を確認してからタイヤを外して行って下さい。
- カッターナイフ等を使用する際は充分取扱いに注意して作業を行って下さい。ケガ等の一切の責任は負いかねます。
- 本製品は製品、車両誤差等により、取り付け穴及び車両との合わせ部をヤスリ等で削り調整して頂く場合がございます。
- 本製品はFRP成型品です。無理な力を加えると破損する恐れがございます。特にビス、ボルト固定の際は必ず全体を仮止めし各部の取り付け具合を確認しながら少しずつ細心の注意で無理な力を加えないように本締めして下さい。
- 車両側の穴開け部には腐食防止の処理を施して下さい。
- 取り付け完了後は各取り付け部及び全体のカタツキ等が無いか、再確認して下さい。又、一定期間毎に取り付け確認、必要に応じて増締めを行って下さい。
- 塗装の塗り分け指示は、あくまで推奨です。お客様の御判断で塗り分けを行って下さい。
- WALD製品は使用目的や使用範囲が限定されており、純正部品とは別の扱いとなる為、車両保証や修理が受けられない場合がございます。予めご了承下さい。
- エアロパーツを装着すると最低地上高が下がる為、縁石や段差にパーツが干渉する場合がございます。またガレージジャッキ等が指定の位置で使えなくなる場合がございます。FRP製、ABS製、PPE製のパーツの場合、純正部品より衝撃に弱くなります。また、車両の色と完全に一致しないことや、取付部に多少のズレが生じる場合もあります。予めご了承下さい。

コーキングボンド使用(別売)

このマークの部分はコーキングボンドでスポイラーとボディの隙間がきれいに埋まる様に接着して下さい。

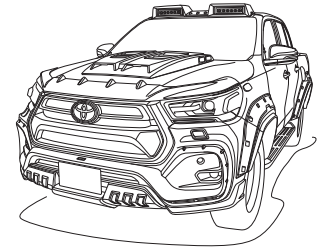
- 接着部分は必ず脱脂を充分に行ってください。
- コーキングボンドで接着後は完全に接着するまで放置し、洗車等濡れる事は避けて下さい。
- 後々、脱着が必要になる部分にはシリコン系のボンドを使用する事をお薦め致します。

※コーキングボンドはお近くの自動車用品店やホームセンター等でお買い求め下さい。

※付属ビス等が付く商品に関しては別袋に入れ、製品の外袋に貼り付けていますのでご注意ください。

	構成部品	数量
FRONT OVER FENDER	フロントオーバーフェンダー本体A,B (左右)	1set
	M4x15 タッピングビス	4
OPTION PARTS	オーバーフェンダー用 飾りビス	16

※本製品の取り付けにより車検証記載の車両寸法から数値が変わりますので構造変更が必要になります。



FRONT OVER FENDER

【塗装前作業】

- 1) 純正マッドガードを車両から取り外して下さい。
※フェンダー内側の純正ビス(3箇所)はオーバーフェンダーの固定に使用します。
- 2) 図を参考にフロントオーバーフェンダーA・Bそれぞれ車両に仮合わせして下さい。
フロントオーバーフェンダーAは純正クリップを使用し、固定して下さい。(両面テープは使用しないで下さい。)
※その際、干渉する部分がありましたら無理に組まずにヤスリ等で削り微調整を行って下さい。
- 3) 全体のバランスを見て正確な位置にある事を確認し、マスキングテープ等で取り付け位置をマーキングして下さい。
- 4) フロントオーバーフェンダーBの固定部分にスポイラーのビス穴を利用し、車両側に穴開け位置をマーキングして下さい。
- 5) フロントオーバーフェンダーを車両から取り外し、マーキングの位置に取り付けビスに応じた適切な穴を開けて下さい。
- 6) 別紙“塗り分け説明書”を参考に任意で塗り分けを行って下さい。

【塗装後作業】

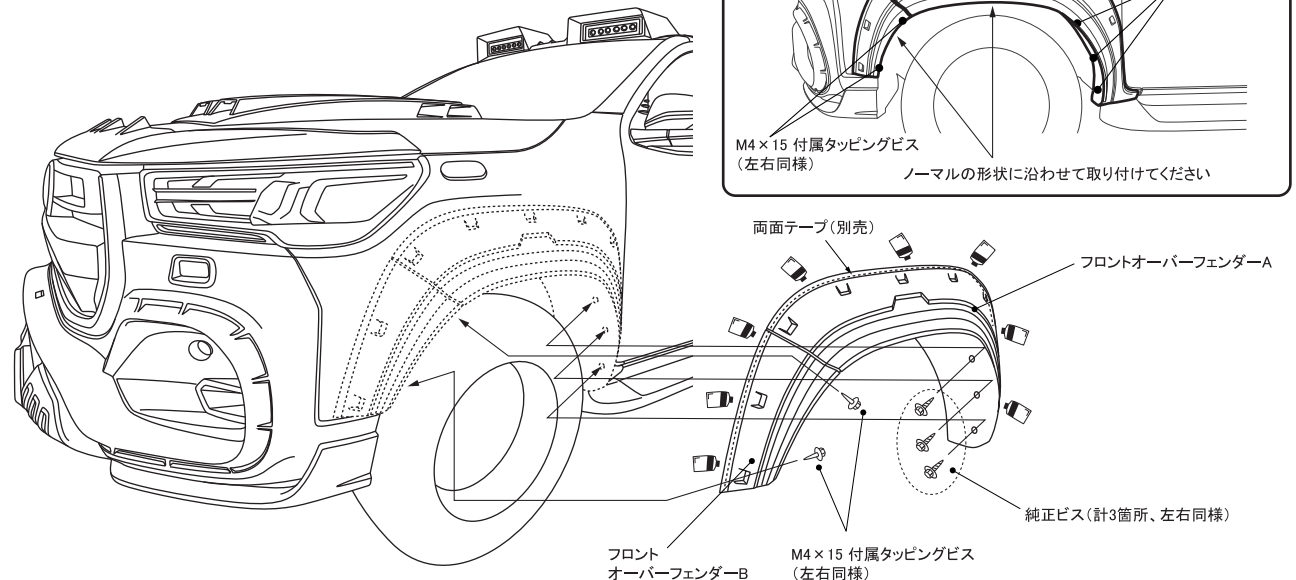
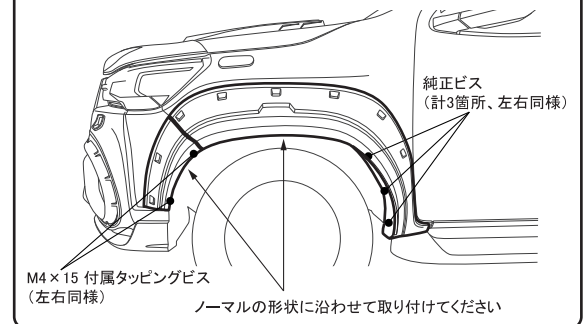
- 7) 各部、接着する部分は車両側も含め脱脂を充分に行ってください。
- 8) フロントオーバーフェンダーをマーキングした取り付け位置に合わせて両面テープ(別売)とボンド等(別売)を併用して接着し、各固定箇所を仮止めて下さい。
※両面テープの剥離紙は、全て剥がさず調整ができる様に両端のみを剥がして下さい。
- 9) 全体のバランスを見て正確な位置にある事が確認できましたら接着部分と仮止め部分を確実に固定して下さい。
- 10) フロントオーバーフェンダーが完全に接着するまで充分に圧着した状態でズレない様に固定しておいて下さい。
- 11) オプションの飾りビスを取り付ける場合は、ボンド等(別売)で接着して下さい。

△ 注意

- ※作業は2名以上で行い、ボディにキズが付かない様に注意して下さい。
- ※車両の誤差でズレ等が生じる場合は各部調整を行って下さい。

※接着部分に使用するボンドはシリコン系の物をお使い下さい。

■フロントオーバーフェンダー取付説明図(左右同様)



TOYOTA HILUX GUN125 (2017.9~)

WALD SPORTS LINE
BLACK BISON EDITION

取付説明書
WALD
Sportliche Autoausrüstung WALD International

この度は当社の製品をお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。本書はHILUXにリアオーバーフェンダーを取り付ける場合の取り付け要領について記載しております。取り付け前に必ずお読み頂き、記載内容に従って正しく取り付けを行って下さい。

△ 注意 ※取り付け上の不備による不具合及び塗装後の返品には応じられませんのでご注意ください。

※本製品は塗装前に必ず車両に仮り合わせ、隙間調整を行って下さい。

- 記載内容を守らなかった為の不具合につきましては責任を負いかねる場合がありますので予め御了承下さい。
- 本製品を改造しての取り付けは絶対にしないで下さい。
- 純正部品取り外し時の御不明点は車両販売ディーラーにお問い合わせ下さい。
- 作業は全て、サイドブレーキをかけ、エンジンを停止し完全に冷めて、車両が確実に固定されている事を確認してからタイヤを外して行って下さい。
- カッターナイフ等を使用する際は充分取扱いに注意して作業を行って下さい。ケガ等の一切の責任は負いかねます。
- 本製品は製品、車両誤差等により、取り付け穴及び車両との合わせ部をヤスリ等で削り調整して頂く場合がございます。
- 本製品はFRP成型品です。無理な力を加えると破損する恐れがございます。特にビス、ボルト固定の際は必ず全体を仮止めし各部の取り付け具合を確認しながら少しずつ細心の注意で無理な力を加えないように本締めして下さい。
- 車両側の穴開け部には腐食防止の処理を施して下さい。
- 取り付け完了後は各取り付け部及び全体のカタツキ等が無いか、再確認して下さい。又、一定期間毎に取り付け確認、必要に応じて増締めを行って下さい。
- 塗装の塗り分け指示は、あくまで推奨です。お客様の御判断で塗り分けを行って下さい。
- WALD製品は使用目的や使用範囲が限定されており、純正部品とは別の扱いとなる為、車両保証や修理が受けられない場合がございます。予めご了承下さい。
- エアロパーツを装着すると最低地上高が下がる為、縁石や段差にパーツが干渉する場合がございます。またガレージジャッキ等が指定の位置で使えなくなる場合がございます。FRP製、ABS製、PPE製のパーツの場合、純正部品より衝撃に弱くなります。また、車両の色と完全に一致しないことや、取付部に多少のズレが生じる場合もあります。予めご了承下さい。

コーキングボンド使用(別売)



このマークの部分はコーキングボンドでスポイラーとボディの隙間がきれいに埋まる様に接着して下さい。

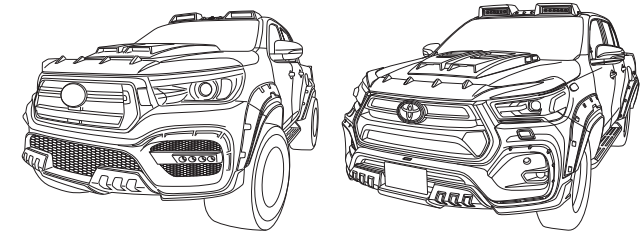
- 接着部分は必ず脱脂を充分に行ってください。
- コーキングボンドで接着後は完全に接着するまで放置し、洗車等濡れる事は避けて下さい。
- 後々、脱着が必要になる部分にはシリコン系のボンドを使用する事をオススメ致します。

※コーキングボンドはお近くの自動車用品店やホームセンター等でお買い求め下さい。

※付属ビス等が付く商品に関しては別袋に入れ、製品の外袋に貼り付けていますのでご注意ください。

	構成部品	数量
REAR OVER FENDER	リアオーバーフェンダー本体	1set
OPTION PARTS	オーバーフェンダー用飾りビス	17

※本製品の取り付けにより車検証記載の車両寸法から数値が変わりますので構造変更が必要になります。



REAR OVER FENDER

【塗装前作業】

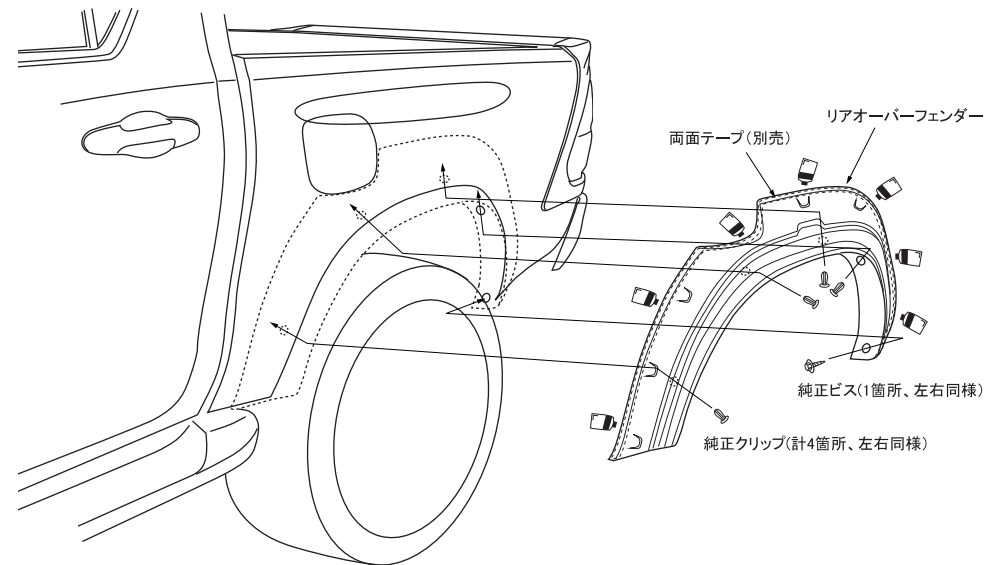
- 1) 純正マッドガードを車両から取り外し、インナーカバーを固定しているフェンダー内側の純正クリップ(4箇所)を取り外して下さい。
※フェンダー内側の純正ビス(1箇所)と純正クリップはオーバーフェンダーの固定に使用します。
- 2) リアオーバーフェンダーを車両に仮合わせして下さい。(両面テープは使用しないで下さい。)
※その際、干渉する部分がありましたら無理に組まずにヤスリ等で削り微調整を行って下さい。
- 3) 全体のバランスを見て正確な位置にある事を確認し、マスキングテープ等で取り付け位置をマーキングして下さい。
- 4) 別紙“塗り分け説明書”を参考に任意で塗り分けを行って下さい。

【塗装後作業】

- 5) 各部、接着する部分は車両側も含め脱脂を充分に行ってください。
- 6) リアオーバーフェンダーをマーキングした取り付け位置に合わせて両面テープ(別売)とボンド等(別売)を併用して接着し、各固定箇所を仮止めして下さい。
※両面テープの剥離紙は、全て剥がさず調整ができる様に両端のみを剥がして下さい。
- 7) 全体のバランスを見て正確な位置にある事が確認できましたら接着部分と仮止め部分を確実に固定して下さい。
- 8) リアオーバーフェンダーが完全に接着するまで充分に圧着した状態でズレない様に固定しておいて下さい。
- 9) オプションの飾りビスを取り付ける場合は、ボンド等(別売)で接着して下さい。

△ 注意

- ※作業は2名以上で行い、ボディにキズが付かない様に注意して下さい。
- ※車両の誤差でズレ等が生じる場合は各部調整を行って下さい。

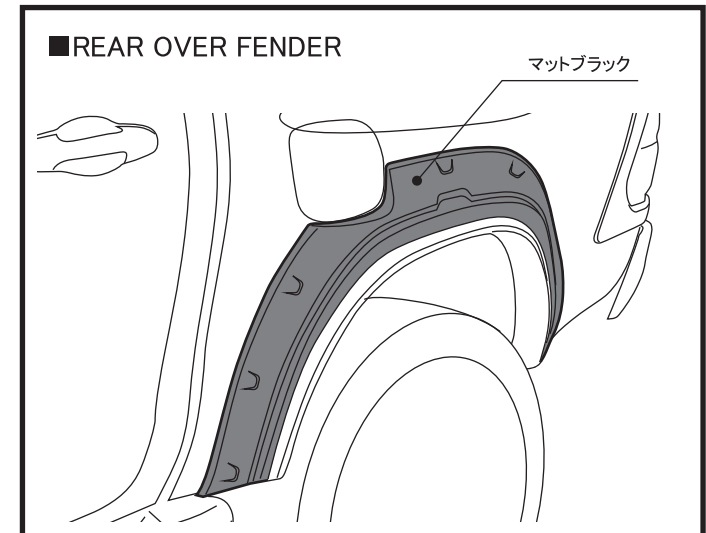
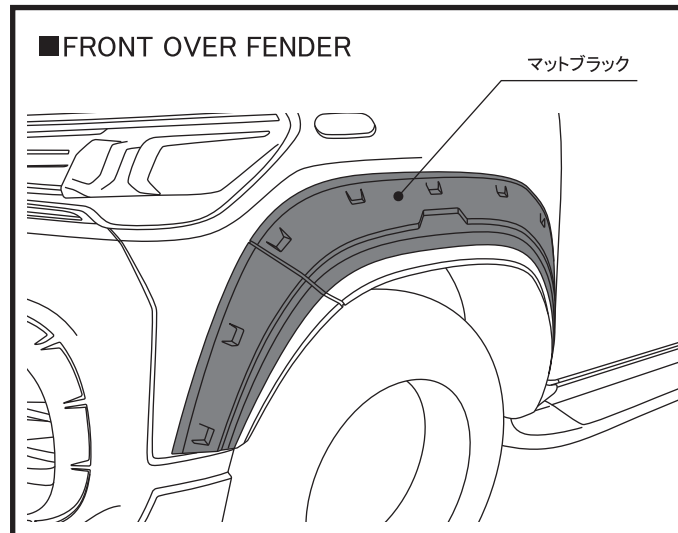
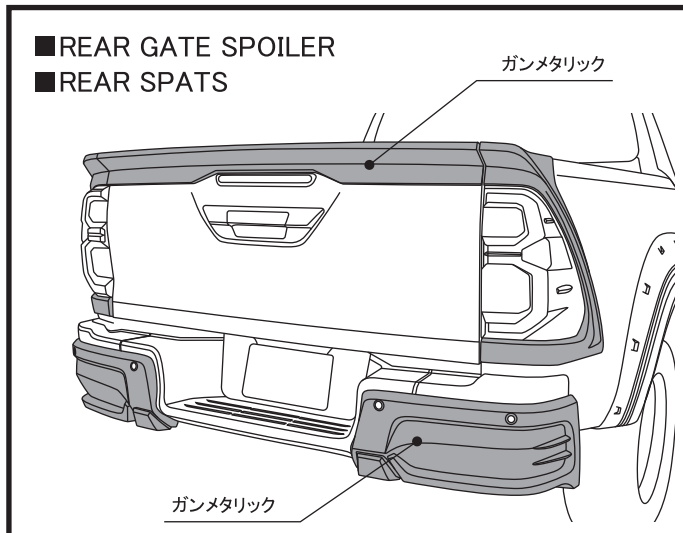
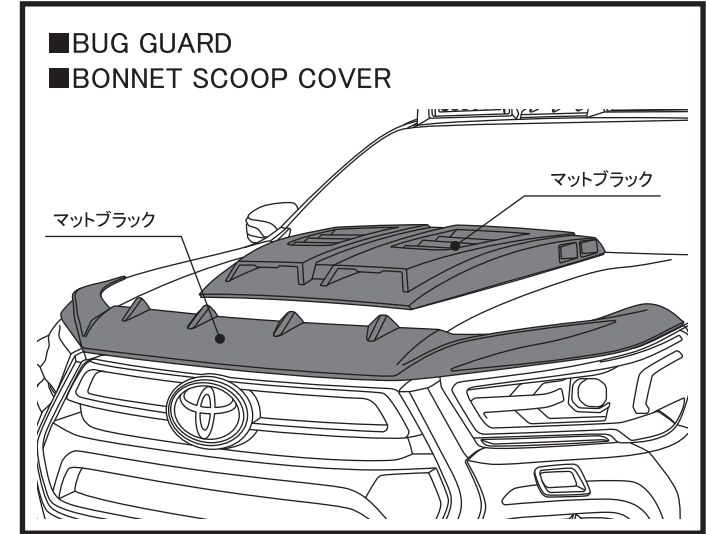
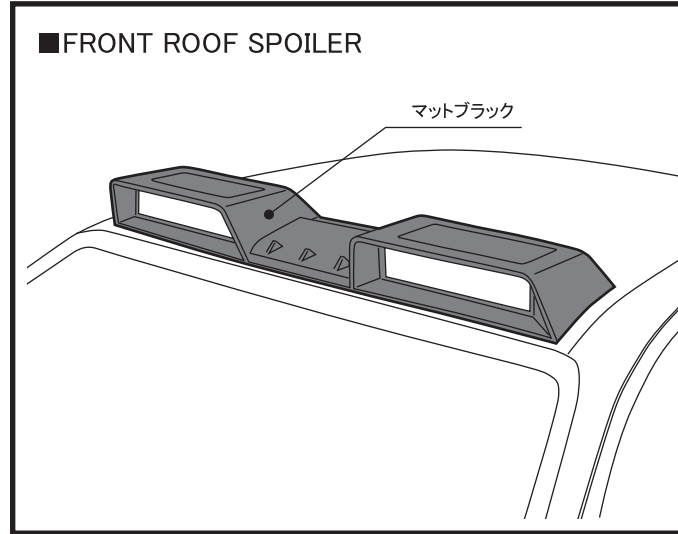
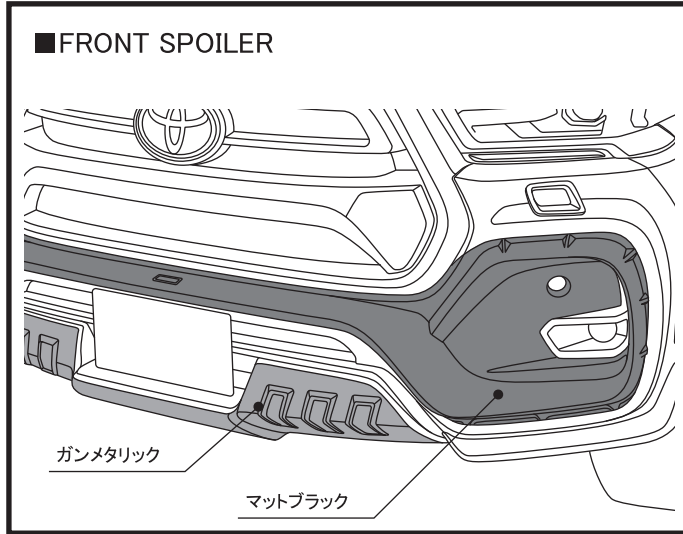


※接着部分に使用するボンドはシリコン系の物をお使い下さい。

この度は当社の製品をお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。本書はWALDハイラックス後期デモカーの各パーツの塗り分けについて記載しております。

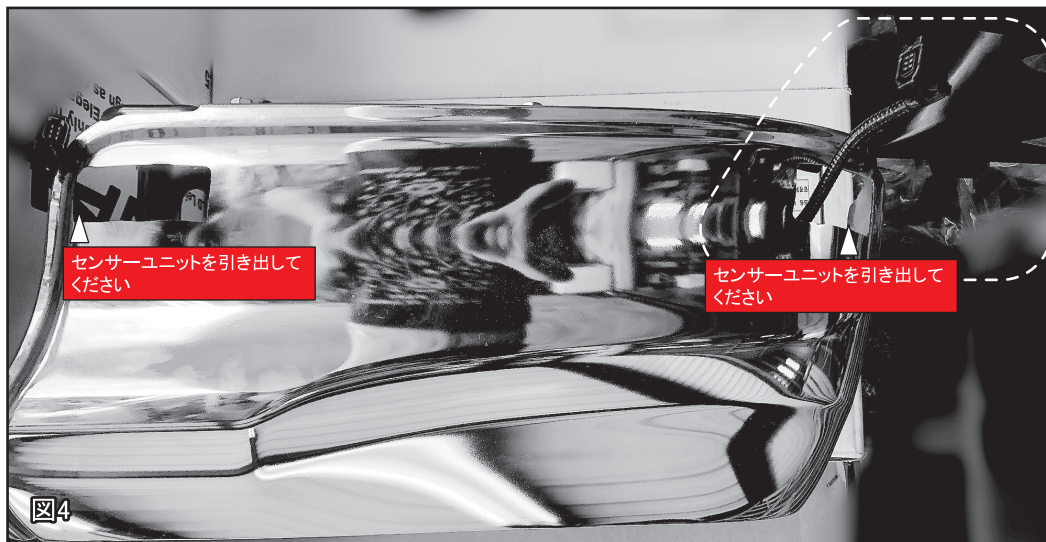
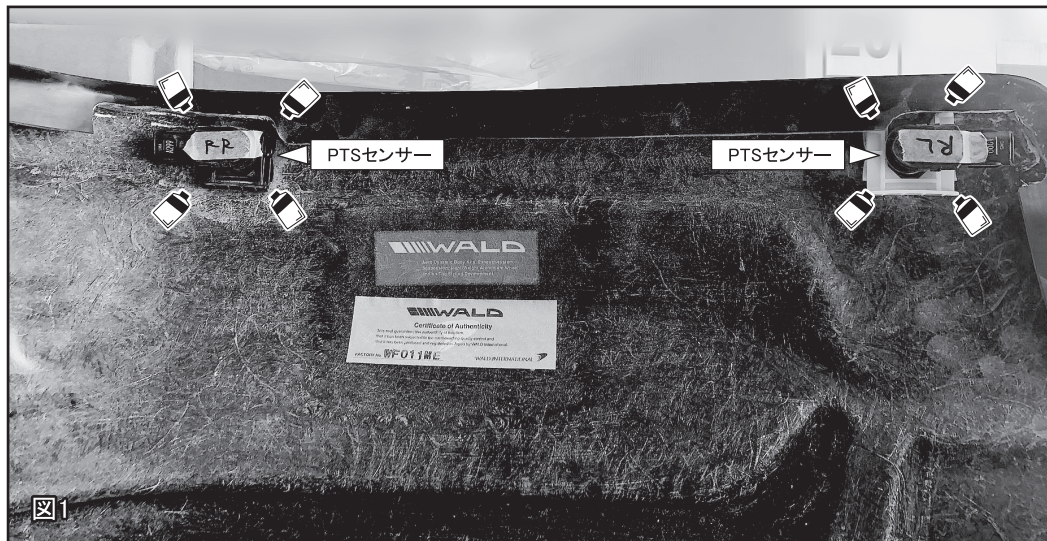
塗り分け説明書

WALDデモカー ボディカラー：アティチュードブラックマイカ



本書はHILUX リアスパッツにPTSセンサーの移植をする際に必要な純正パーツの加工部分について記載しております。取り付け前に必ずお読み頂き、記載内容に従って正しく取り付けを行って下さい。

■ PTSセンサー移植に関する要領書



リアスパッツにPTSセンサーを土台ごと移植し、コーキングボンド(別売)等で接着して下さい(図1)。センサーの移植により、センサーのユニット等が純正バンパーと干渉しますので純正センサー穴(図2)の部分のカットして広げます(図3)。

カットした穴からセンサーユニットを引き出し(図4)、リアスパッツに移植したPTSセンサーと接続します。

※純正バンパーからセンサーを外す際はどの位置に付いていた物かわかる様にマーキング等を付け、正しい位置に取り付けて下さい。位置が変わると正常に作動しない可能性がありますので注意して下さい。